

若き日の風景画から

岩田榮吉の世界
The Art of Eikichi Iwata



2024.10.12^{Sat} — 2025.1.19^{Sun}

【開館時間】 10:00 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで)

【休館日】 毎週火曜日・12.27(金)-1.3(金) 冬季休館

【観覧料】 一般 500 円 / 割引 400 円 (65 歳以上、障がい者手帳・三溪園入園券をお持ちの方)

〒231-0822

神奈川県横浜市中区本牧元町 40-7

TEL:045-629-1150 FAX:045-629-1151

公式HP : <https://www.yh-g.org/>

関連HP : <https://www.iwata-museum.org/>

横浜本牧絵画館

Yokohama Honmoku Gallery

「絵画はすべて風景画」であるとするれば 岩田榮吉の世界—若き日の風景画から 展示にあたって

岩田榮吉（1929～1982）は当館のメインコレクション作家です。その画風は、端的に「ヨーロッパ絵画の伝統を深く理解し、人形などをモチーフとする写実的な細密表現の静物画を中心に、独自の絵画世界を追求した」と言えるでしょう。

しかし若い頃の一時期、岩田は風景画を集中的に描いていました。しかもそれらは写生に基づくものでもなく、写実的な細密表現でもありません。その間にはどのような経験と思考の変遷があったのでしょうか。また、以後の制作とのつながりは無かったのでしょうか。

「絵画はすべて風景画」とも言われます。実際の景色景観を対象とするだけでなく、実景を再構成した心象的な風景画、さらには潜在する心奥を象徴的に表現した静物画もまた一種の内面風景であるとするれば、そこは断絶でなく伏流と化しただけなのかもしれません。

今回の展示では、学生時代の作品8点にみる風景の扱い方・描き方と、その後渡仏後30歳台前半に集中的に取り組んだ風景スケッチと油彩作品計27点、その他作品4点に写真資料を加え、岩田の画業全体に「風景画」がどのような意味を持っていたのかを探ります。



岩田榮吉 【坂道】 鉛筆・ペン
制作年不明
125×135mm

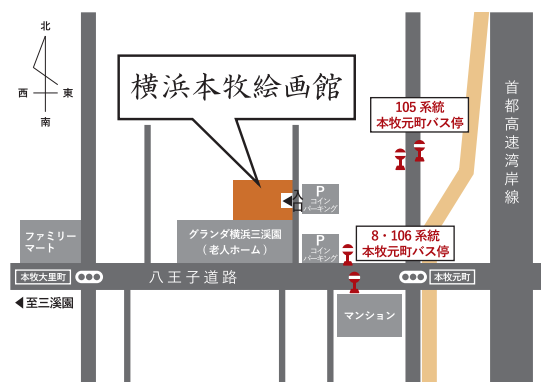
横浜本牧絵画館

Yokohama Honmoku Gallery

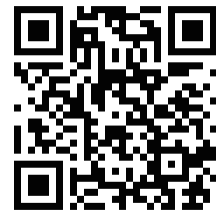
当館は、横浜の名勝「三溪園」に近く、絵を見ることが好きな方、絵を描くことが好きな方のための、具象絵画を中心とする私設美術館です。

岩田榮吉(1929-1982)

当館は「岩田榮吉」の作品を中心にコレクションしております。岩田榮吉は、東京藝術大学油絵科を首席で卒業し、その後生涯バリエーションで制作を続けた画家です。フェルメールなどに代表されるオランダ17世紀絵画の影響を受ける一方、トロンプリュユ（だまし絵）を始めとして、伝統的な技法を用いた写実的な細密画を多く描きました。



※専用の駐車スペースはありません。(近隣のコインパーキングをご利用ください)
※車いす用の来車スペースが1台あります。ご利用は事前にご連絡ください。



二次元バーコードにて当館の詳細な情報が見られます

公共交通機関からのアクセス

元町・中華街駅より

(東急東横線・みなとみらい線)

ホーム横浜寄りを上り、4番出口右方「山下町」バス停から横浜市営バス8系統「本牧車庫前」行「本牧元町」下車
所要約30分・徒歩1分

横浜駅より

(JR各線、東急東横線、京浜急行、相鉄線、横浜市営地下鉄)

東口バスターミナルから横浜市営バス8系統・105系統「本牧車庫前」行「本牧元町」下車
所要約40分・徒歩1分

桜木町駅より

(JR京浜東北線、横浜市営地下鉄)

横浜市営バス11番乗場から105・106系統
又は2番乗り場から8系統
「本牧車庫前」行「本牧元町」下車 所要約30分・徒歩1分

根岸方面より

横浜市営バス58・101系統「和田山口」で下車、道の反対側の横浜市営バス4番乗場8・106・105系統「本牧車庫前」行「本牧元町」下車
「和田山口」から所要約10分・徒歩1分